

親子でつくろう!

食べて応援、作って応援

ベランダ
菜園

栽培の難易度

難 中 易

コンテナの大きさ



中型

ニンニク
(ユリ科)

ベランダ栽培のポイント

1. 秋に植え、初夏に茎や葉が2/3くらい枯れてきたら収穫どき。晴れた日に抜き取って乾燥させる。
2. 1株で約30〜40g、プランター1つから約8〜10個の収穫。

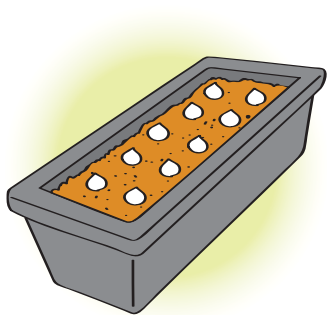
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
植えつけ期間												
収穫期間												

保存が利く
スタミナ野菜

寒さに強く、球根を植えたあとは肥料を与えるぐらいで、さほど栽培に手はかかりません。収穫後、風通しのよい日陰につるせば長く保存ができ、必要な分だけ使えて便利です。

1. スタート 植えつけ

秋に植えつけをします。1片ごとに分けて、薄皮を残したまま植えつける。発芽までは約2週間、寒冷地では翌春になります。



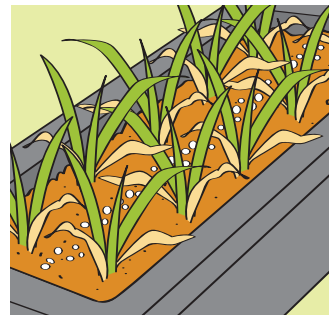
10〜15cmの間をあけて2本の溝をつくり、植えつけの目印にする。球根のどがったほうを上に向けて、溝の上に10cm間隔で置く。



球根を押し込んで、土を5〜6cm程度かける。

2. 1か月〜 追肥

追肥は年内と春先の2回。発芽後は球根の養分で成長するので、しばらく手をかけずに育てます。



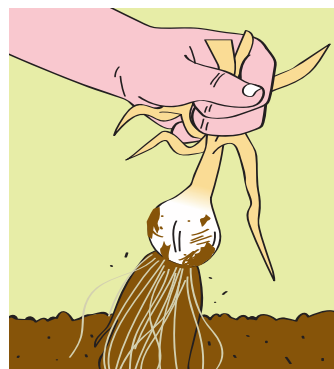
植えつけから約1か月後、化成肥料10gを列と列の間にまいて軽く土寄せする。



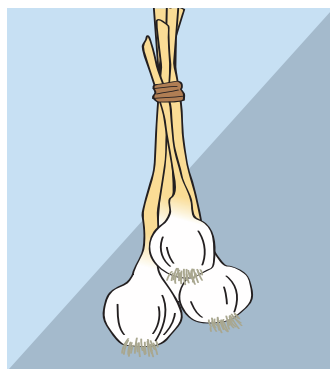
春先、成長を始めたなら、列と列の間に化成肥料10gをまいて軽く土を足す。土が減っているようなら新しい土を足す。

3. 7か月〜 収穫・保存

茎や葉が枯れ始めたら収穫時期。掘り上げて乾燥させれば、秋までもち、また次のシーズンの植えつけに使えます。



球根を掘り上げたら、根と葉を切って日陰で乾かす。



保存は風通しのよい日陰に。ネットに入れてつるしてもよい。

コラム

超簡単「黒にんにく」の作り方

臭いが少なくフルーティな黒にんにくは、ご家庭で簡単に作れます。

1. 炊飯器の釜底にアルミホイルを敷き、にんにく10個程度を皮付きのまま入れる。
2. 一番上にアルミホイルをかぶせ、蓋を閉めて保温スイッチを入れ、保温が切れないよう注意しながら2週間熟成させれば出来上がり。



※途中で(1週間程度)、にんにくの上下を入れ替えましょう

お持帰り価格
¥2,090
(5kg税込)

配達料
(5kg)
¥100



3年連続「特A」受賞 えなコシヒカリ

全国から集まったお米を20名の食味審査員が厳正に審査し、特AからB'まで5段階に分けて審査する食味コンテストで、3年連続特Aランクを受賞しました。

JAとうとでは経済店舗はもちろんのこと、ホワイト支店、笠原支店、市之倉支店、下石支店、駄知支店、陶支店、上野町支店、土岐支店、きなゐた瑞浪の各店舗で販売致しております。配達も承っておりますのでご利用頂きますよう、よろしくお願いいたします。

